

# 進路便り

3年生 第6号 2015年9月15日  
三重県立津西高等学校 進路指導部



文化祭も終わりました。気分を切り替えて落ち着いて学習を進めていることでしょう。今回はみなさんの1コ上、2コ上の先輩方の2学期の体験談を紹介しましょう。

西高祭明けごろから本格的にセンターに向けた勉強をはじめました。私の場合は、それまでに終わっていた記述式の問題集を2度、3度と繰り返しました。マーク式の問題集などは持っていませんでしたが、記述力がつけば確実にマークも選べるようになっていくと思います。また、電車・バス通学だったのでその時間は基礎である英語の単語や古典の単語を確認したりしていました。 大阪市立大学 文学部

1学期と同じで授業についていき宿題の演習問題を解くのがやっとでした。基礎がまだまだできていなくて問題演習が思うように進まず、できていないと思えば思うほど成績もどんどん悪くなりました。私はこの時、先生に「ここまでやってきたのだから、あなたのそのままでもいい・・・」と声をかけていただきました。それから気持ちが軽くなり結果も大きく変わってきたので、取り組む気持ちや姿勢も大切なのだと思いました。 名古屋工業大学 工学部

2学期は二次形式の対策をする、ほとんど最後の機会なので繰り返しやりこんだ問題集の復習をオススメします。 三重大学 人文学部

2学期頃は、何回模試を受けても同じような点数しかとれませんでした。でも「伸びるのは12月からや」と先生に励まされ続けていました。実際少し点数が伸び始めたのは、12月の終わりぐらいからだったと思います。 広島大学 工学部

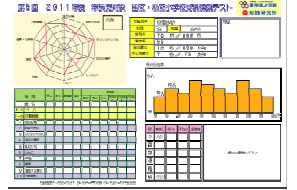
2学期から、時間を計って問題を解く→答え合わせ→復習 を繰り返しました。復習のときには、教科書、プリント、スペシャルノートなどにたくさん書き込みました。私の場合は、目で見ただけではなく、自分の字で書いた方が印象に残り、覚えやすかったです。 三重大学 医学部

秋は実践力をつけました。模試がとにかく多いので、模試をやっては復習していました。でも、僕はこの時期は良い結果が出せませんでした。それでも結果を受け止めて改善点を見つけて取り組むことで、徐々に伸びていったと思います。 三重大学 人文学部

2学期はとりあえず模試が多すぎて忙しすぎました。だから私は模試の理・社の追い込みは一回置きにしていました。難関大の人はレクチャーやオープン模試を受けるとモチベーションがあがり自分の位置が分かるので良いです。記述の勉強は12月ごろまでやりました。この時期は周りと志望校のセンターと2次の比率の関係で勉強の仕方が変わりますが、気にせず自分の道を歩もう。勉強の比率に迷ったら先生に相談しましょう。 神戸大学 経済学部

先輩の体験談にも出てくるように、2学期はまさに「模試銀座」です。これを乗り越えたところに夢の王国(志望大学)が待っているわけです。

改めて模試の注意点を確認して、入試のシミュレーションとして活用しましょう。



- ① 模試を入試本番と考えて受験しよう  
模試実施日を入試本番と考えて準備し、実力を出し切るトレーニングをしましょう。
- ② 時間配分を考えよう  
見直し不足によるケアレスミスを防ぐため、模試でも時間配分を意識して取り組みましょう
- ③ より多く得点できる答案作りをしよう  
入試では1点の差で合否が分かれるため、原点のない、ポイントを網羅した答案作成を意識しましょう
- ④ 自己採点を確実にしよう  
マーク模試を利用して、センター試験に向けた自己採点のトレーニングをしておくことが大切です。

今日の日曜日はベネッセ・駿台マーク模試です。直前の金曜日にはリスニングテストがあります。上記4点に注意しながら、夏の勉強の成果を発揮しましょう。

連絡



☆今週金曜日 センター「受験案内」配布・出願説明(裏面)  
以前から連絡してある通り、18日(金)6限目にセンターの出願説明があります。欠席しないようにしてください。  
☆駿台・河合塾主催 大学別模擬試験・突破レクチャー  
HRに案内が掲示されますので、確認して進路で申し込んでください。